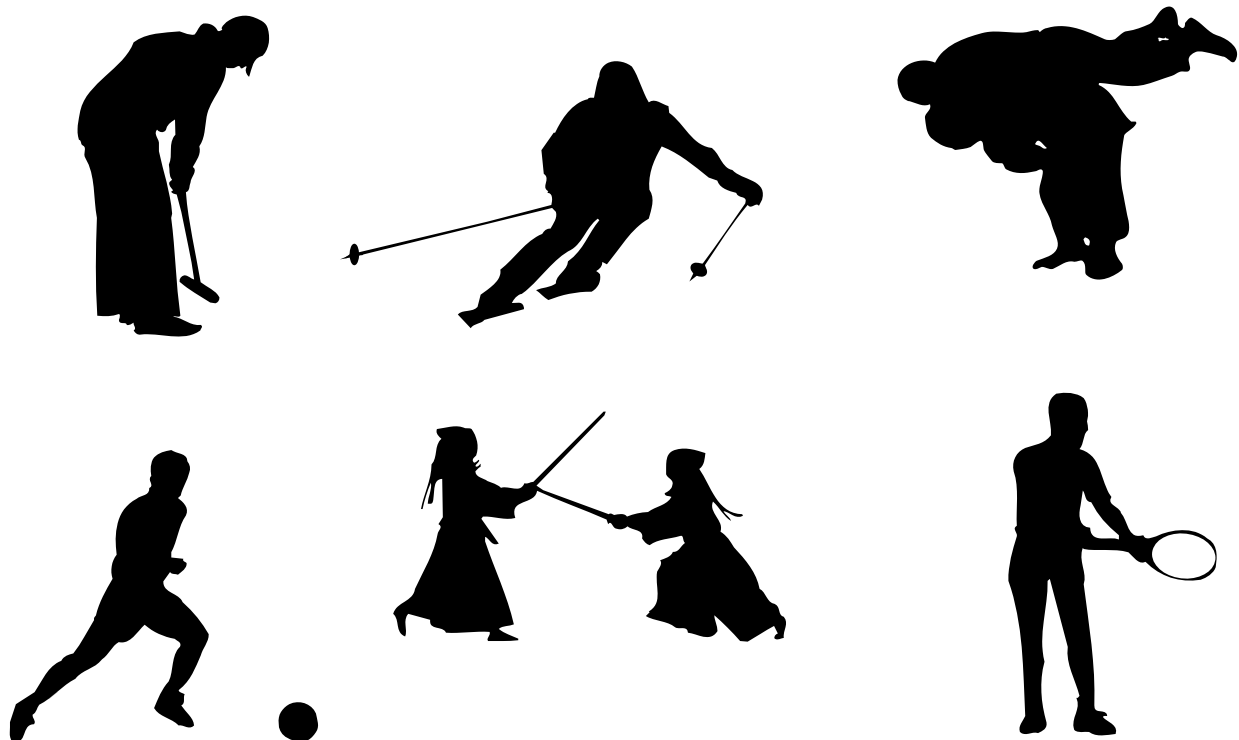


みなかみ町スポーツ推進計画

令和5年度～令和9年度



みなかみ町教育委員会

はじめに

第1次みなかみ町スポーツ推進計画（以下「第1次計画」という）は、スポーツを通じて住民の心身の健康増進を図り、スポーツの力で地域を活性化させ、多くの住民が笑顔になれる施策を展開するために、平成25年度から令和4年度までの10年間を対象期間として策定されました。平成29年度に前期5カ年の見直しを行い、後期5カ年の計画を改訂版として策定しました。

この後期5カ年の間、令和3年の夏に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、スポーツへの関心が高まる機会がありました。しかしながら、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、みなかみ町においてもその影響は甚大で、スポーツ活動どころか外出することすらはばかれるような厳しい環境の中で生活を送るような時期も度々ありました。第1次計画で掲げた目標「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合55%以上」に近づいていた数値は、このような状況下で、大幅に低下してしまいました。特に集団スポーツの機会が中止や縮小となり、その影響は大きかったと言えます。このような状況下でも比較的多く取り組まれているのは、ウォーキングなど個人で手軽に取り組めるスポーツということも浮かび上がりました。

スポーツの力で地域を活性化させ、多くの住民が笑顔になれるようにするには、個人個人の活動だけでなく、仲間が広がったり、集団でのスポーツを楽しんだりする機会を増やしていく必要があります。

しかし、みなかみ町の高齢化指数は高くなり、児童生徒数も減少しているため、スポーツ協会やスポーツ少年団など団体が縮小していることや、各地域でのスポーツイベントの減少など多くの課題を抱えています。

また、地域における将来のスポーツ指導者の養成や地域スポーツ活動の活性化も踏まえた、生徒のスポーツ活動を地域で支える学校部活動の地域移行や、ユネスコエコパークやSDGs 未来都市としての自然と共生したスポーツ活動、DXを踏まえたスポーツに関する利便性の向上など、社会の要請に応える必要があります。

さらに、2029年に実施が予定されている国民スポーツ大会群馬大会のホッケー会場となる本町の役割を生かしたスポーツ振興にも取り組んで行く必要があります。

このような現状の中、この先も予想される、変化が激しい社会情勢や新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、計画期間を5年間として第2次みなかみ町スポーツ推進計画を策定することとします。

令和5年4月

みなかみ町教育委員会

教育長 田村 義和

第1章 計画策定の基本的な考え方

1. 計画見直しの趣旨

平成25年3月に策定した第1次スポーツ推進計画の計画期間である10年が過ぎます。平成25年の当初計画では、平成23年12月制定の「みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言～笑顔っていいよね～」を基本とし、住民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて人間関係を育成し、生き生きとした笑顔あふれるみなかみ町の創造を目指してきました。

また、平成29年度の改訂では、それまでの5年間を振り返り住民の意識調査などの結果を踏まえた目標達成のため、現状に即した見直しを行いました。しかしながら計画の後半は、コロナ禍での自粛生活により、スポーツを楽しむどころか家を出ることもままならない状況となり、目標であるスポーツに取り組む成人の割合も大きくポイントを下げている状況です。

終息の見えないコロナ禍においても、みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言の「スポーツでひろげる笑顔の  みなかみ」の基本理念の下、「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合を50%以上とします」という目標を達成し、町民の親睦と健康増進を図るためには、感染症に配慮したスポーツの新しい形を模索し、無理なく続けられる持続可能な取り組みが必要になっています。

そのため、町では次の計画を10年から5年の期間に短縮し、社会の感染症への取り扱い傾向により、次の5年間につなげる推進計画の見直しを行うものです。

本計画における「スポーツ」とは？

通常のいわゆる「スポーツ」はもとより、レクリエーションスポーツやウォーキング、ラジオ体操やストレッチなど、実施している本人が「健康の維持増進」や「楽しみ」等の要素を持って体を動かすことを意味します。

2. 計画の位置づけ

「スポーツ基本法」第10条第1項に規定する、地方スポーツ推進計画としての位置づけとなっています。また、令和3年度から7年度にかけての「群馬県スポーツ推進計画」を参考とし、「第2次みなかみ町総合計画」における”生涯スポーツの推進”を実現するための計画として位置づけるものとしています。

みなかみ町スポーツ推進計画と関連する計画												
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
国	第2期スポーツ基本計画			第3期スポーツ基本計画								
県	スポーツ推進計画（H28～R2）		群馬県スポーツ推進計画（R3～R7）					群馬県スポーツ推進計画（R8～R12）				
みなかみ町	第2次総合計画（前期計画）				第2次総合計画（後期計画）					第3次総合計画		
					健康みなかみ21（R8に中間見直し）							
	みなかみ町スポーツ・健康づくり宣言											
	みなかみ町スポーツ推進計画（第1次後期計画）				みなかみ町スポーツ推進計画（本計画）							

近年開催された又は開催予定大規模イベント

2021年	東京夏季オリンピック・パラリンピック
2022年	北京冬季オリンピック・パラリンピック サッカーワールドカップ（カタール）
2023年	ワールドベースボールクラシック（日本・アメリカ） バスケットボールワールドカップ（日本・インドネシア他） ラグビーワールドカップ（フランス）
2024年	パリ夏季オリンピック・パラリンピック
2026年	イタリア冬季オリンピック・パラリンピック サッカーワールドカップ（メキシコ・アメリカ・カナダ）
2028年	ロサンゼルス夏季オリンピック・パラリンピック
2029年	国民スポーツ大会群馬大会（ホッケー会場：みなかみ町）

3. 国・県の動向

国では令和4年度からの第3期スポーツ基本計画を策定し、

①スポーツを「つくる／はぐくむ」

②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる

③スポーツに「誰もがアクセス」できる

という新たな3つの視点に立ち、今後の5年間で12の施策を実施するとしています。

群馬県は、国の計画より1年早く令和3年度からのスポーツ推進計画を策定し、スポーツによる自己実現と健康で活力ある群馬県を創生することを目指して、「健康増進・生きがいづくり」「共生社会の推進」「活力ある地域創生」「感動の創出と誇りの醸成」の4つの政策目標を掲げ、更にライフステージに応じた4つの施策を設定して、目標達成を目指すとしています。

また、2029年度に群馬県で開催される、第83回国民スポーツ大会と第28回全国障害者スポーツ大会に向けた準備を本格化させ、大会を契機に更なるスポーツ振興を図る考えです。みなかみ町もホッケー競技の会場に予定されていることから、競技環境等の体制を整え、選手団の受け入れや会場準備等進めていきます。

4. SDGsとの関連

スポーツ庁は、SDGsの達成にスポーツで貢献していくとしています。2019年に「SDGs未来都市」に選定されたみなかみ町においても、スポーツの持つ、「人々を集める力」や「人々を巻き込む力」を使って、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上に取り組みます。第2次みなかみ町総合計画においても、各事業はSDGsの取り組みと関連性を検討することとされているため、本計画を推進するにあたっては、次の5つのゴールを考慮します。

	<u>全ての人に健康と福祉を</u> スポーツは、健康的で生きがいのある生活を送るために必要な要素です。
	<u>質の高い教育をみんなに</u> スポーツ活動によるプログラムは、社会生活でも応用できるスキルの取得につながります。
	<u>ジェンダー平等を実現しよう</u> スポーツ活動により、性別や年齢にかかわらないジェンダー平等社会の実現に向けた意識改革が進みます。
	<u>住み続けられるまちづくりを</u> スポーツによる交流により、地域が活性化し、持続可能な生活の場を生み出します。
	<u>パートナーシップで目標を達成しよう</u> スポーツ活動におけるパートナーシップにより、自他の目標達成に貢献します。

5. 計画の期間

令和5年4月から令和10年3月までの5年間とします。

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

（スポーツ庁HPより）

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

1. 人口減少・少子化

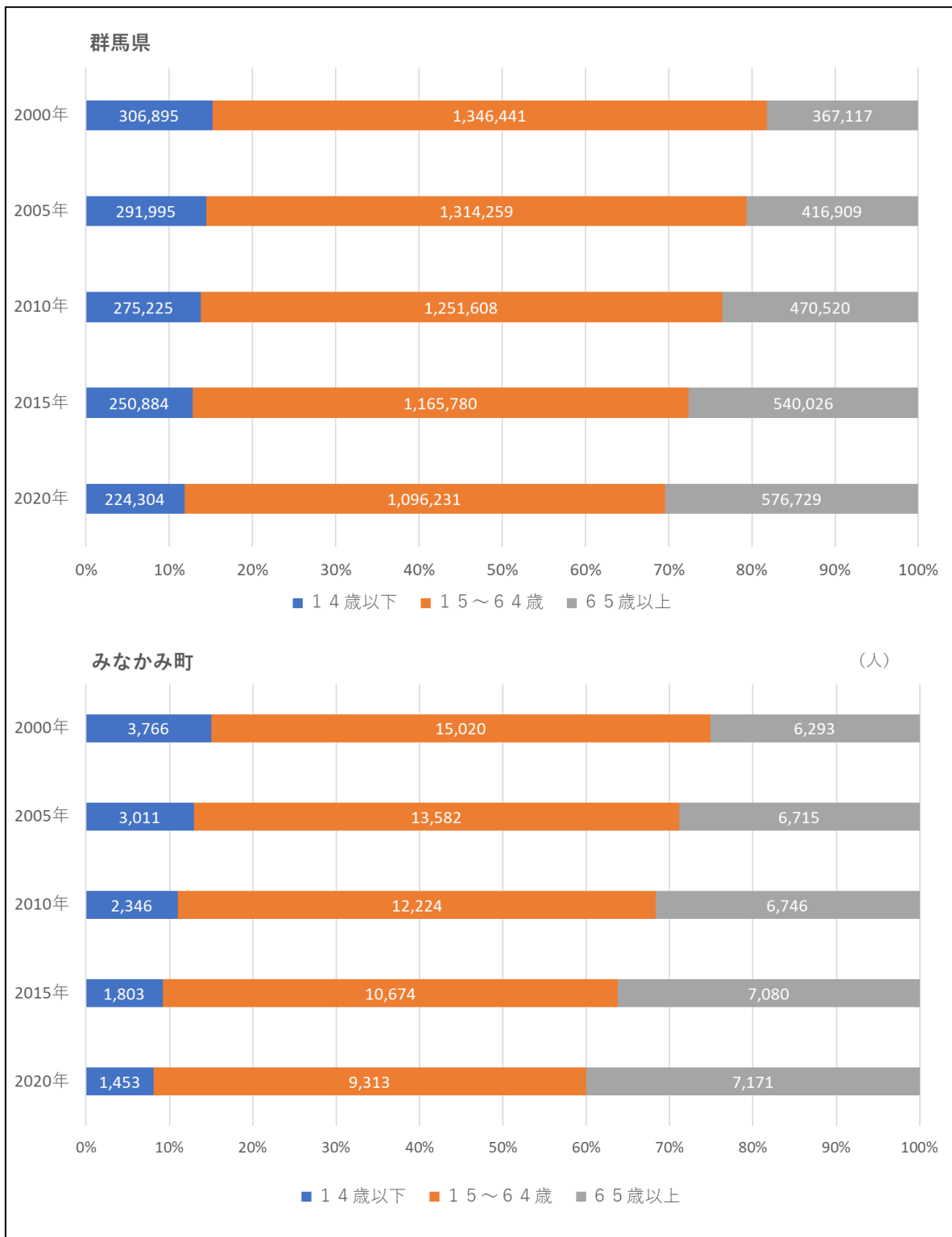
群馬県の平成12年度の14歳以下の人口は、307千人(総人口比15.2%)、令和2年度は224千人(11.8%)に減少し、65才以上は、367千人(18.2%)から577千人(30.4%)に大きく増加しています。みなかみ町においては、14歳以下は平成12年度の3,766人(15%)から令和2年度は1,453人(8.1%)へ、65才以上については6,293人(25.1%)から7,171人(40.0%)となっています。町の総人口は約25,000人から約18,000人に28%ほど減少しており、群馬県の2,025千人から1,939千人の6%と比較すると、人口減少が著しく、それに伴い少子高齢化も激しく進んでいる状況が読み取れます。高齢化指数についても平成29年度～令和2年度で、県下の順位は下がっていますが数値は高くなっている現状があります。

みなかみ町の高齢化指数の変遷

高齢化指数(H29)			高齢化指数(R2)		
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	南牧村	2,058.2	1	南牧村	2,765.8
2	神流町	1,332.9	2	神流町	1,713.6
3	下仁田町	860.2	3	下仁田町	948.9
4	草津町	445.7	4	草津町	539.8
5	みなかみ町	438.0	5	片品村	495.2
6	東吾妻町	425.4	6	東吾妻町	487.3
7	上野村	415.6	7	みなかみ町	467.6
8	中之条町	403.2	8	長野原町	458.8
9	片品村	396.4	9	中之条町	461.1
10	川場村	379.2	10	川場村	433.8
群馬県平均		233.0	群馬県平均		257.1

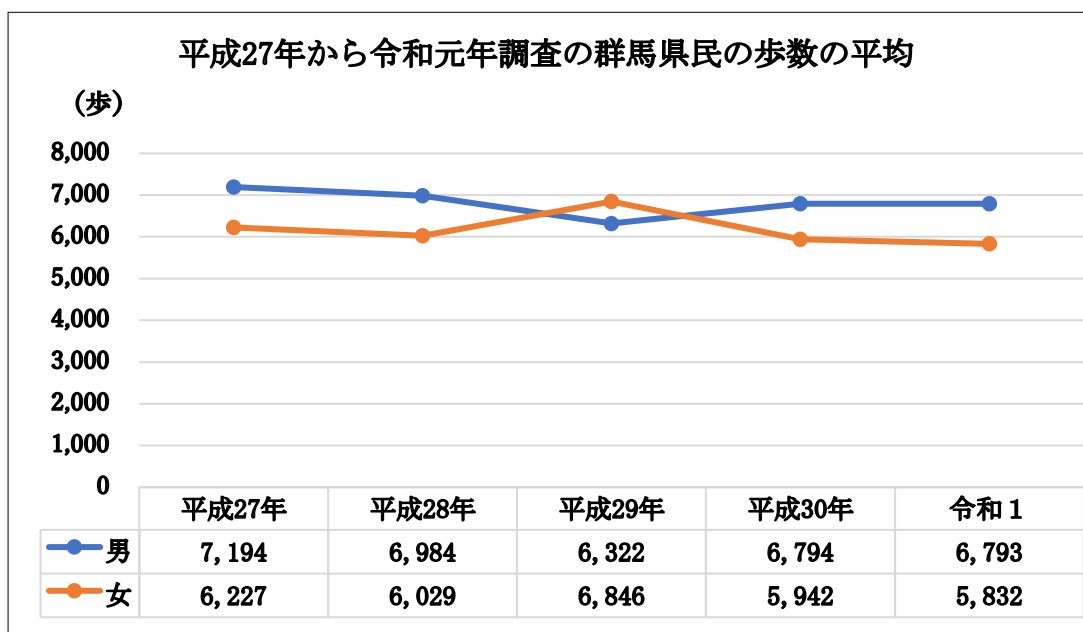
高齢化指数計算式＝(65歳以上の人口÷14歳までの人口)×100 群馬県年齢別人口統計調査結果より

群馬県とみなかみ町の年齢3区分別人口比較



2. 健康増進のための運動習慣の必要性

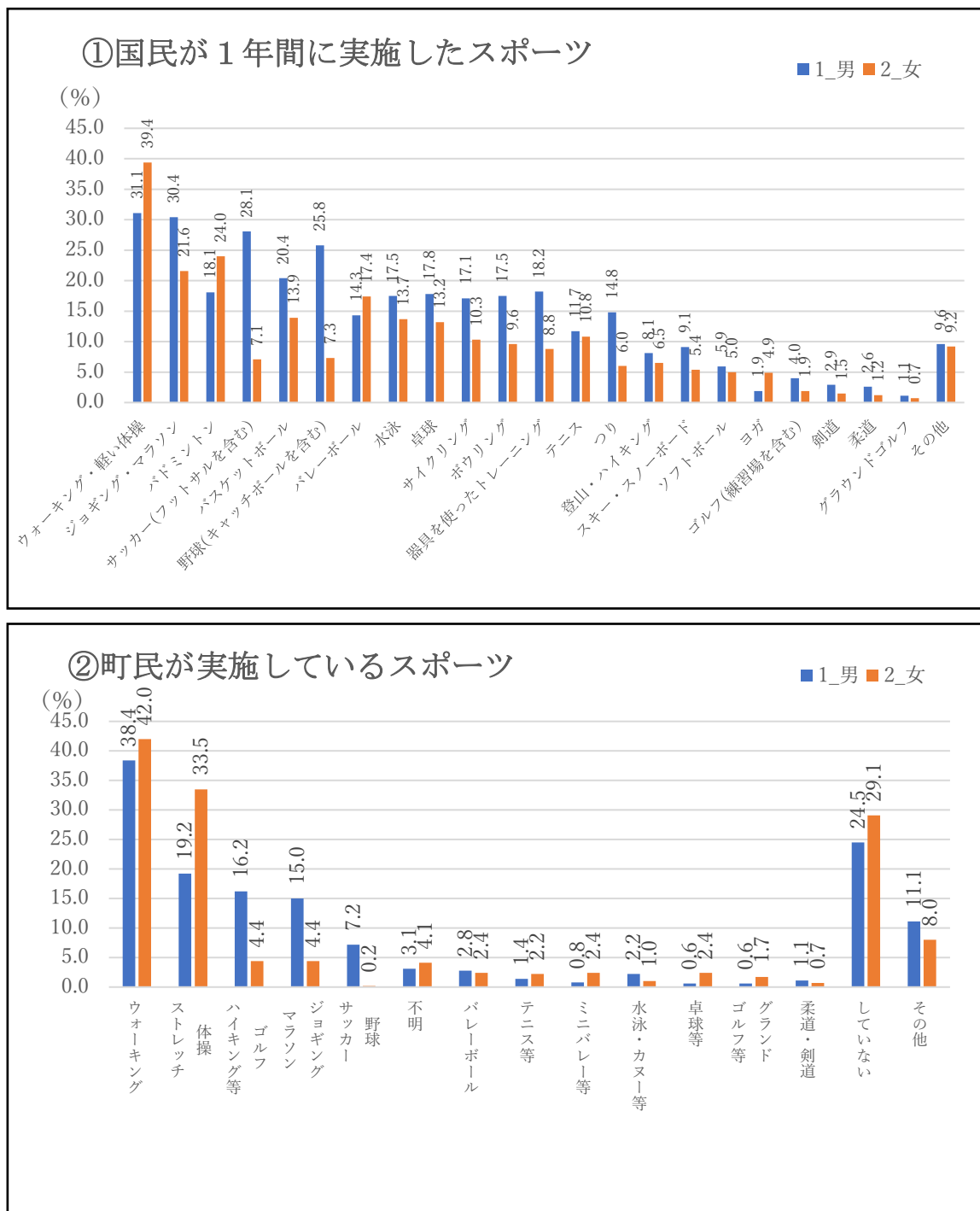
下表は、平成27年から令和元年にかけての国民健康・栄養調査による、20歳以上の群馬県民の1日の歩数の平均値です。平成23年から27年にかけての調査では、男性は7,671歩で18位、女性は6,389歩で41位でした。その後の調査では県別の順位は発表されていませんが、男女とも概ね下降している状況です。令和2年以降はコロナにより調査が実施されていませんが、感染の不安がある公共交通の利用が敬遠され、より車移動に偏った生活になっていると考えられます。



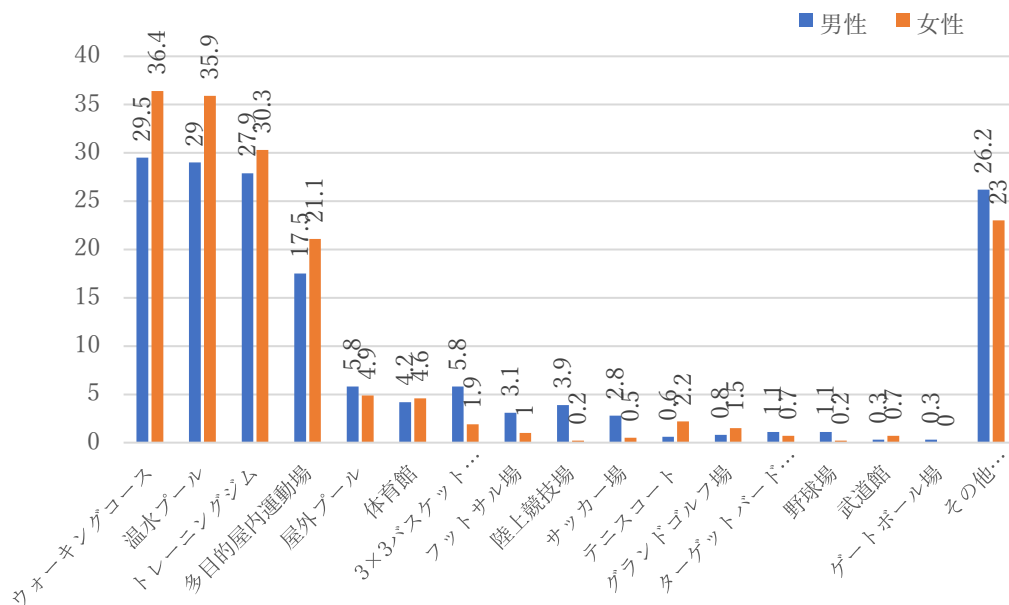
このことは、児童生徒においても同様で、令和3年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果では、コロナ前と比較して、約40%の児童生徒が運動する時間が減少したと回答しています。同調査では、スマホやパソコン、テレビなどの電子機器を使用している時間（スクリーンタイム）と体力テスト合計点との関係性も考察されており、パソコンやスマホ、テレビ等の視聴時間が長くなるほど体力の低下の傾向が見られるとしています。コロナ禍での外出制限などにより、家庭時間の増加と共にスクリーンタイムも増加しているものと思われます。町民アンケートでは令和3年度の週1回以上スポーツをする人の割合が、51%から令和4年度43.9%に急落しており、現状ではスポーツに親しむ人が減少傾向

向であることがうかがえます。スポーツに取り組む習慣は、生活習慣病の予防や健康の維持増進面で重要であることから、コロナなどの感染症流行時にも取り組みやすいスポーツの必要性が増しています。

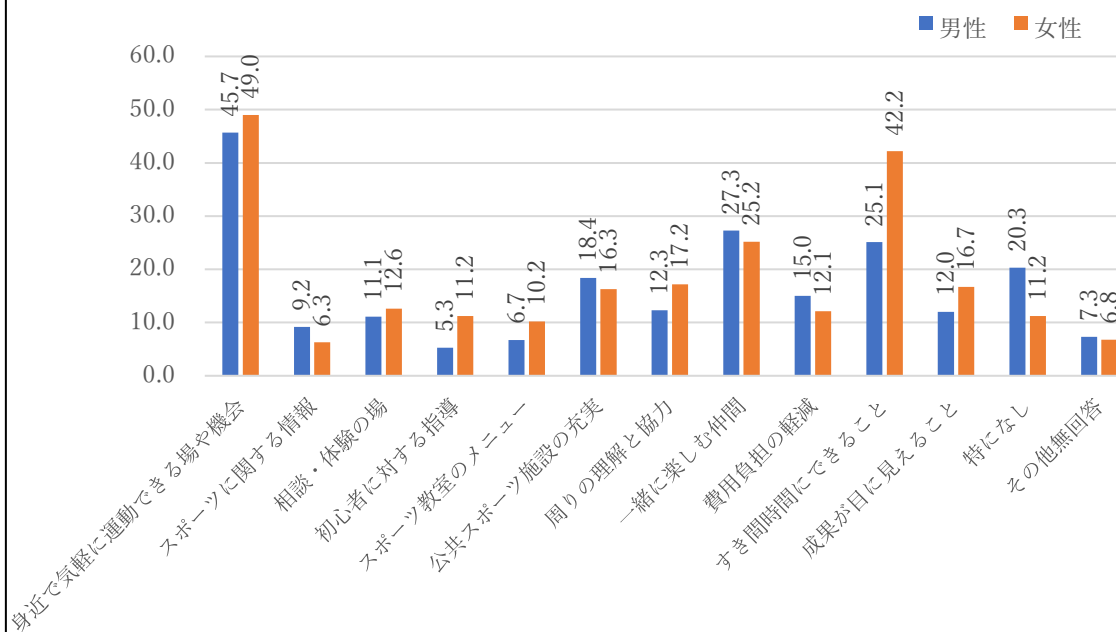
3. 楽しみのための運動習慣の必要性



③町民が整備してほしいスポーツ施設



④今後スポーツを続ける（または始める）ために必要なこと



これらのグラフは、①は令和3年度の社会生活基本調査の結果で、国民のスポーツの傾向がわかります。②③④は子育て健康課の健康みなかみ21調査です。種目によって男女

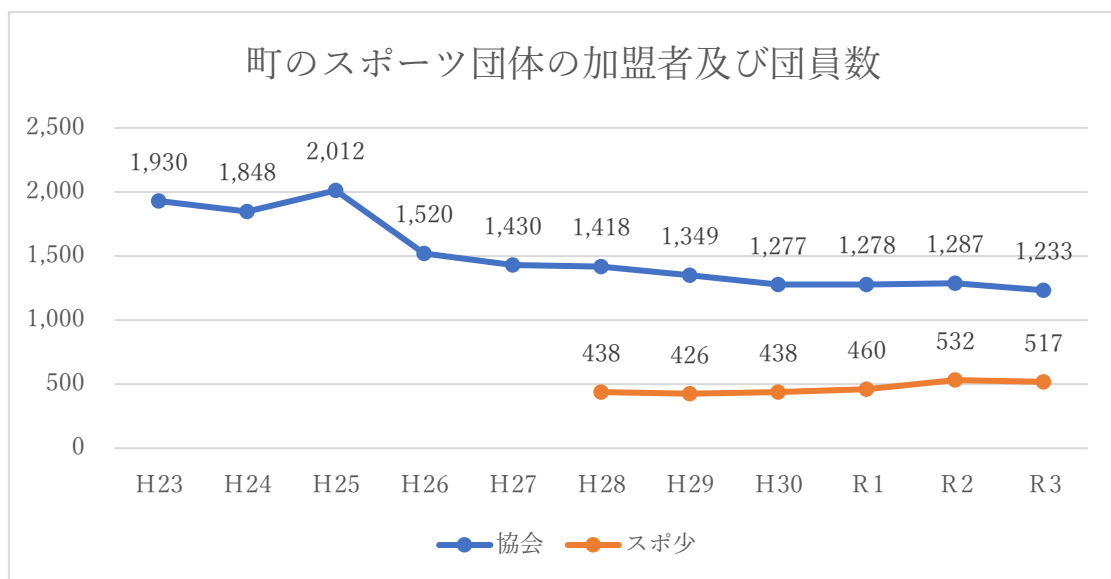
差がありますが、どちらのグラフもウォーキングの男女差が少なく、全体的にも突出している状況です。

②のグラフから運動をしてないという人もおよそ 25～30%あり、多くを占めています。理由は 51.8%が「時間に余裕がない」と回答しており、町民はスポーツのために時間をとることが困難な状況にあることがうかがえます。今後スポーツをしたいと思うかの質問には 63.8%が「したい」と回答しており、スポーツの継続または開始のためには、「すき間時間」に実施できる「身近で気軽な場所」を用意する必要があると思われます。

4. 町内スポーツ団体の現状

スポーツ協会加盟団体数は、平成 23 年の 20 団体から 19 団体と 1 団体の減少ですが、加盟者数はピーク時の約 6 割まで減少しています。新規加入が少なく、高齢化による退会者が増加していることが主な要因と思われます。

スポーツ少年団は、前計画時の 18 団体から 22 団体に 4 団体増加し団員数も増加しています。内訳としては 2 団体が活動を中止し、卓球・チアダンス・新体操・ミニバスの 4 団体と中学校の部活団体が 3 団体（内 1 団体は既存団体の名称変更）加入したものであり、児童数でカウントすると減少傾向にあるのが実情です。



第1次スポーツ推進計画の期間内に、町内にプロスポーツの団体が1つ誕生しています。同団体は、群馬県の総合型地域スポーツクラブに登録し、バスケットボールやチア等の活動を通して、町のスポーツの活性化や競技性の向上に貢献しています。子育て健康課の健康増進事業にも積極的にに関わり、普段スポーツをする機会の少ない方にスポーツの楽しさを啓発しています。

町ではこのような団体を支援したり更に招致したりすることで、既存のスポーツ協会加盟団体や少年団の活動が活性化し、今後の課題である部活動の地域移行の受け皿としての可能性が広がることを期待しています。

5. スポーツ関連施策の現状

町民福祉課や子育て健康課、総合戦略課等では、所管する業務を計画的に遂行するため、様々な計画が策定されています。どの計画においても、目的達成のため「スポーツ活動の推進」が掲げられており、分野毎に対象となる町民や活動量は異なりますが、政策効果の一層の向上のためには、連携を図り協働して進める必要があります。

各課のスポーツに関連する施策が取り込まれている計画

- みなかみ町高齢者保健福祉計画（町民福祉課）
- みなかみ町障害者計画（町民福祉課）
- みなかみ町子ども・子育て支援事業計画（子育て健康課）
- 健康みなかみ21（子育て健康課）
- みなかみ町スポーツタウンプロジェクト（総合戦略課）

5. 社会体育施設の現状

別資料に示すとおり生涯学習課の所管する体育施設は数多くありますが、合併前の各町村が整備した当時のまま、広い町域に分散して設置され、老朽化して修繕等行き届いていない施設もあります。トイレや階段等バリアフリーに未対応の施設もあり、パラスポーツへの対応もできていないため、町民の皆さんが利用しやすい環境にあるとはいえません。令和5年度からは、生涯学習係に加え施設管理係が設置され、農林漁業者体育施設が3カ所、社会体育施設に編入されます。

多くの施設を適切に管理し、町民の皆さんがスポーツに取り組みやすい環境整備と有効活用の方法を検討していく必要があります。

第3章 計画の基本理念及び目標

【基本理念】

スポーツでひろげる笑顔の みなかみ

みなかみ町では、平成20年に策定された「第1次みなかみ町総合計画」で基本目標の一つとして「豊かな心と文化を育むまち」を設定しました。目標達成のため、同計画の後期計画においては「生涯スポーツの推進」を具体的な施策として定めています。

また、平成23年に「みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言～笑顔っていいよね～」が制定され、スポーツを通じて住民の心身の健康増進を図り、スポーツの力で地域を活性化させ、多くの住民が笑顔になれる政策を展開してきました。

また、令和5年度に制定された「みなかみ町健康増進計画」にも、それぞれのライフステージに応じた身体活動を推奨しています。

本計画は、みなかみ町総合計画やみなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言の求める、心身の健康がもたらす豊かな心と笑顔を具現化するため策定されました。

には、輪・話・和の3つの意味があり、人々の交流を表しています。コロナ禍で失われそうな、町民相互の交流と笑顔を、新しい考え方でもう一度取り戻すため、前計画の理念を引き継いでいきます。

【目標】

今回の計画の成果をはかる具体的な指標として、下記の目標を設定します。

「週一回以上スポーツに取り組む 20 歳以上の 町民の割合を 50%以上とします。」

※本計画におけるスポーツとは、本人が「健康の維持増進」や「楽しみ」といった目的を持って身体を動かすことを指します。(レクリエーションスポーツやウォーキング、ストレッチ等も含みます。)

○目標達成のための方針

週一回以上スポーツをしている 20 歳以上の町民の割合は、町民アンケートで平成 29 年度 44.9%、30 年度 47%、令和元年度 48.2%、2 年度 51%と、順調に推移していました。しかし、コロナ禍で外出自粛を余儀なくされた令和 3 年度には 43.9%に急落しています。今後どのように推移するか感染症等の影響により予測は困難ですが、感染症に配慮した新しいスポーツの紹介や、健康増進計画と連携した正しい知識の周知などを推進し、まずはピーク時の割合を目指し、本計画での目標を 50%以上に設定します。

日頃から身体を動かすことに取り組んでいますか？という町民アンケートの結果では、ほぼ毎日という人が 24.9%、週に 1 回程度が 19%で計 43.9%です。健康増進計画の意識的に身体を動かすことを心がけていますか？の問いについては、いつも心がけている人が 29.1%、ときどき心がけている人が 49.5%で、併せて 78.6%となっています。町民アンケートとの差は 34.7%で、この人たちは心がけてはいるができない人と言えます。ロコモティブシンドロームの認知状況別のスポーツの実施状況は、認知している人の 86.9%がスポーツを心がけている状況となり、モチベーションが高まればスポーツを実施することがわかります。また、スポーツをしていない人の理由としては、時間に余裕がないが約 52%と過半数を超えていますが、身近で気軽にスポーツができる場や機会があればスポーツを

続ける・始めたいという方が 47.4%あります。「一緒に楽しむ仲間がいる」や「すき間時間でできる」という質問では、P9 の④のグラフから、それぞれ 26.2%と 33.6%で、全体では高い水準となっています。

これらのことから、総合計画の取り組み方針でもある「スポーツ意欲の高揚」と「スポーツ機会の充実」を図るため、具体的には下記の 5 点に留意して目標達成を目指します。

- ① スポーツが必要な理由を明快に示す。
- ② 感染症禍でも仲間とスポーツを楽しめる方法や新しいスポーツを紹介する。
- ③ 既存のスポーツ施設の維持管理や、気軽に身近でスポーツができる場を整備する。
- ④ ライフステージに応じたスポーツの紹介と指導者の確保・育成する。
- ⑤ スポーツ施設の維持管理に努め、ニーズに応じた設備・機会を提供する。

○目標達成度の検証

毎年実施される町民アンケートにおいて、町民の週 1 回以上のスポーツへの取り組みを検証します。

※国は、第 3 期スポーツ基本計画の今後の目標として、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率を 70%（障害者は 40%）になることを目指し、これをスポーツ庁の実施する

「スポーツの実施状況等に関する世論調査」で検証しています。

群馬県では、国の第 2 期スポーツ基本計画の 65%（障害者は 40%程度）という目標を目安としつつ、令和元年度末の 30.1%という調査結果から、令和 7 年度末までに 53.6%という数値を目標とし、これとは別に 60 歳以上の高齢者の数値目標を全体よりも高い 67.4%に設定しています。

第4章 スポーツ推進のための基本施策

スポーツ推進計画の最終的な目標は、本計画の目標であるスポーツ人口50%を更に伸ばし、県や国の目標に近づけ、追い越し、将来的には100%に近い数値にすることです。みなかみ町第2次総合計画の施策の目的にも「町民が生涯を通じてスポーツに親しむ」として掲げており、町民が「生きがい」や「楽しみ」を見いだしながら、スポーツに取り組めるよう、下記の施策に取り組みます。

基本施策1 スポーツへの意欲高揚

居住地域が広範囲に点在するみなかみ町では、スポーツ施設までの距離的な問題や降雪等の自然環境の違い、また少子高齢化による人口減少等によりスポーツへの取り組みを集約して行うことは難しく、また、十分な効果も期待できません。

そこで、スポーツを身近に感じられるよう、スポーツ施設に行かなくても実施できるニュースポーツや正しいウォーキングの紹介・研修会等、スポーツに取り組むきっかけを提供し、個人や地域の実情に沿った活動が行えるよう組織や機会の充実を図り、町民のスポーツ意欲の高揚を図ります。また、距離をとりやすい野外スポーツを中心に仲間づくりを推進し、集団スポーツ再開へのステップとします。

〈具体的な取り組み〉

- ・ 軽スポーツ教室等の開催によるニュースポーツの紹介、講習会の開催
- ・ 地域資源を活かしたレクリエーションスポーツの普及啓発
- ・ スポーツ少年団やスポーツ協会と部活動の連携促進
- ・ 子育て健康課と連携した健康増進への動機付け

基本施策2 ライフステージに応じた活動推進と支援

町民のライフステージに応じて、スポーツが必要な理由を明示し、スポーツ推進に取り組みます。また、それぞれの生活環境や障がい者などにもできる限り配慮した活動を取り入れ、子育て健康課の健康みなかみ21計画との連携を図りながら、無理せずスポーツに取り組み、自身の健康増進に繋がれるように支援します。

〈具体的な取り組み〉

- ・ 子育て世代や働き盛りの世代が取り組みやすいスポーツの把握と啓発
- ・ 親子で取り組めるスポーツ体験会など、スポーツに親しむ機会の提供
- ・ スポーツ少年団やスポーツ協会の活動支援と、加入促進
- ・ 年代や体調に応じ、短時間で気軽に取り組めるスポーツの紹介
- ・ 子育て健康課と連携した健康増進教室等の開催
- ・ 健常者と障がい者の交流や健康づくりを促すスポーツイベントの実施支援
- ・ 高齢者の健康づくりや生きがいづくりの活動支援

基本施策3 生涯スポーツ推進体制の整備及び人材育成

第1次スポーツ推進計画では、生涯スポーツの推進について、スポーツを通じた地域住民の交流及び地域活性化を支援するとして、各地区に地域体育委員会を組織したり、スポーツ指導者の育成を支援したりして強化・促進を図ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、三密を避ける状況となり、集団で行うスポーツの機会が失われてしまいました。

基本施策1でも、まずは個人で気軽に取り組めるスポーツを推奨し、スポーツ意欲を高めるとしましたが、個人スポーツをきっかけに、少しずつ集団スポーツを実施できる環境を整え、生涯スポーツの推進体制を整備します。指導者等の人材育成にあっても、

中学校部活動の地域移行の推進等、社会情勢に沿った形で指導するために有効な研修会や講習会への積極的な参加を促進します。

〈具体的な取り組み〉

- ・ 各種研修会や講習会の紹介と参加促進のための支援
- ・ 地域体育委員会の制度検討及び活動支援
- ・ スポーツ推進委員の資質向上のための研修支援
- ・ スポーツ推進委員の活動促進と地域及び各団体等との連携強化
- ・ 部活動の地域移行に伴う、受け皿団体の育成支援
- ・ 地域スポーツクラブとの連携強化と活動支援

基本施策４ スポーツ施設の整備と充実

町民のスポーツ活動を促進するためには、身近で気軽に取り組める場所の提供が必要です。ウォーキングやジョギング等ニーズの高いスポーツに気軽に取り組めるように環境整備を進めます。既存の施設については、限られた予算の中での効率的な維持管理保全に努め、個人や集団での活用促進に対応します。固定のスポーツ施設は距離的に利用しづらい方も多いため、スマートフォン等を活用した、自宅周辺でもスポーツを楽しむ方法を検討していきます。

〈具体的な取り組み〉

- ・ 既存スポーツ施設や備品の維持修繕
- ・ スマートフォンやアプリケーションを活用したスポーツ活動の発信や実施
- ・ 町内のスポーツに活用できる公園等のロケーションデータを収集し、ウォーキングコースを設定

みなかみ町スポーツ推進計画

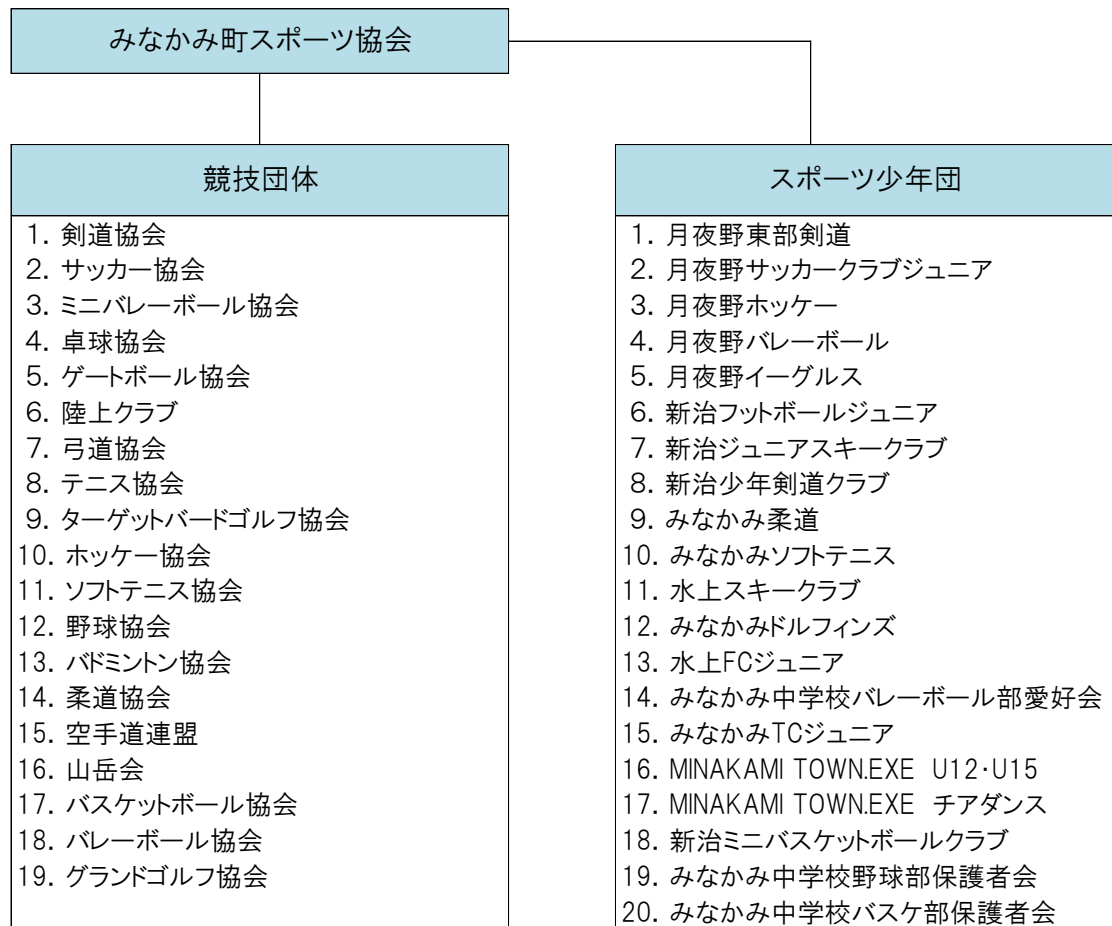
～資料編～

みなかみ町スポーツ協会組織図

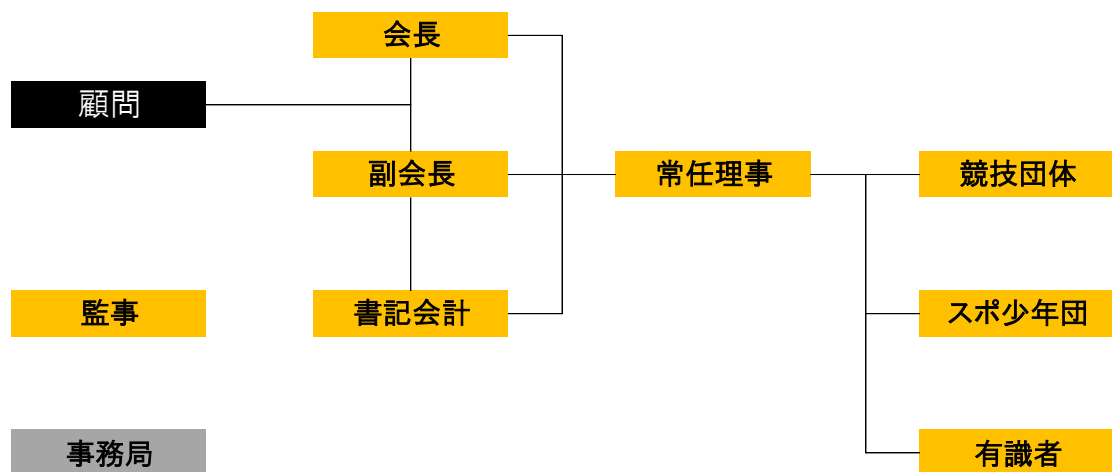
みなかみ町社会体育・学校体育施設一覧表

みなかみ町スポーツ協会組織図

○組織図



○役員



顧問は前年の会長が就任

会長は前年の副会長（有識者枠）から選出

副会長は3名（協会常任理事枠、スポ少本部長、有識者）

有識者・監事は常任理事会において推薦し、総会において承認する。

みなかみ町社会体育・学校体育施設の現状

令和5年4月1日現在

月夜野地区社会体育施設

施設名		所在地	建設年度	面積(㎡)	設備	備考
月夜野 グラウンド 総合	野球場	下津沼田地先 (赤谷河川敷)	S45	15,000	両翼90m センター110m 野球 ソフトボール	4/1～12/27 ナイター有
	サッカー場			12,800	105m×68m 1面 50m×68m 2面	4/1～12/27 ナイター(LED)
	ターゲットバードゴルフ場		H8	11,212	18ホール	4/1～12/27
月夜野緑地施設内運動広場		月夜野143地先	S53	15,400	人工芝ホッケー場 11人制コート2面	4/1～12/27
月夜野北部運動広場		上牧1821-1	S54	9,200	野球 ソフトボール	4/1～12/27 ナイター有
月夜野南部運動広場		政所933-1地内	S61	10,331	グラウンドゴルフ	4/1～12/27
月夜野多目的広場(グラウンドゴルフ)		後閑38	H30	8,500	グラウンドゴルフ	4/1～12/27
大中島公園テニスコート		後閑大中島地内	S61	4,929	全天候コート 3面 クレーコート 4面	4/1～12/27 ナイター5面分
月夜野 総合 体育館	アリーナ	月夜野135-3	S56	1,570	ミニバスケットボール 2面 バスケットボール 2面 バレーボール(6人制) 3面 バレーボール(9人制) 2面 バドミントン 6面	1/4～12/27
	トレーニング室			220	卓球台 7台	
	柔道場			260	135畳	
	剣道場			260	1面	
月夜野南部体育館		政所463-1	H1	1,069	バレーボール 1面 バドミントン 4面 卓球	1/4～12/27
月夜野名胡桃体育館		上津1244	S53	600	バレーボール(6人制) 1面 バドミントン 4面 卓球	1/4～12/27
月夜野北部体育館		上牧1735	S46	764	バレーボール 1面 バドミントン 3面 卓球	1/4～12/27
月夜野弓道場		月夜野483-1	S61	760	6人立ち道場 木造鉄筋平屋建 的場・研修室・練習場	1/4～12/27

月夜野地区学校体育施設

施 設 名			所在地	建設 年度	面積(㎡)	設備	備考
古馬牧小学校グラウンド			後閑1064		4,896		ナイター有
古馬牧小学校体育館				H15	1,383	ミニバスケットボール 2面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 卓球	
桃野小学校グラウンド			月夜野583		7,471		
桃野小学校体育館				H21	891	ミニバスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 3面 卓球	
月夜野北小学校グラウンド			上牧880		6,722		
月夜野北小学校体育館				S41	595	ミニバスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 3面 卓球	
みなかみ中学校グラウンド			月夜野80		14,502		ナイター有
中 学 み 校 な 体 か 育 み 館	一階	柔道場		H6	452	柔道場 2面	
		剣道場			536	剣道場 2面	
	二階	アリーナ			1,416	バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バドミントン 6面	
		卓球場				270	

水上地区社会体育施設

施 設 名		所在地	建設 年度	面積(㎡)	設備	備考
水上 社会 体育 館	1 階アリーナ	湯原441	S55	733	剣道場2面 卓球8台	1/4～12/27
	トレーニングルーム			126	トレーニング機器 一式	
	アリーナ			1, 150	バスケットボール 2面 バレーボール(9人制) 2面 バドミントン 6面 卓球 1面	
農業者等健康増進施設 (南部体育館)		川上402-1	S54	780	ミニバスケットボール バドミントン バレーボール等	1/4～12/27
農林漁業者等健康増進施設 (中部体育館)		綱子165-1	S58	934	ミニバスケットボール バドミントン バレーボール等	1/4～12/27
農業者トレーニングセンター (北部体育館)		藤原4053	S59	829	ミニバスケットボール バドミントン バレーボール等	1/4～12/27
大穴多目的広場		大穴270	S39	6, 000		5/1～11/30

水上地区学校体育施設

施 設 名	所在地	建設 年度	面積 (㎡)	設備	備考
水上小学校グラウンド	湯原222		19,454		
水上小学校体育館		H23	768	ミニバスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 2面 卓球	
藤原小学校グラウンド	藤原3491		3,371		
藤原小学校体育館		S42	432	ミニバスケットボール 1面 バレーボール 1面 バドミントン 2面 卓球	

新治地区社会体育施設

施 設 名	所在地	建設 年度	面積 (㎡)	設備	備考
入須川社会体育館	入須川1924	H5	616	バスケットボール 1面 バレーボール 2面 ミニバスケットボール 2面	4/1～12/27
運動新 動治 公中 園央	野球場	H4	14,800	両翼93m センター115m	ナイター有 4/1～12/27
	多目的広場(天然芝)		7,500	サッカー・ソフトボール等	4/1～12/27
	テニスコート		4,400	クレー 4面 3面	ナイター有 4/1～12/27
海洋新 セン ター B & G	アリーナ	H4	852	バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 3面	4/1～12/27
	ミーティングルーム		57	40人収容	4/1～12/27
	トレーニングルーム		430	剣道 1面 一式 トレーニング機材	4/1～12/27
	プール			25m×6コース 幼児プール	夏季期間
	ミニ艇庫	H10	177	カヌー28艇 ローボート ミーティングルーム シャワー室	4/1～10/31

新治地区学校体育施設

施 設 名	所在地	建設 年度	面積 (㎡)	設備	備考
新治小学校グラウンド	新巻208		6,820		
新治小学校体育館		H20	903	ミニバスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 2面 卓球	

にいはるこども園体育館	須川74-1	H9	550	ミニバスケットボール バレーボール バドミントン 卓球	1面 1面 2面	
-------------	--------	----	-----	--------------------------------------	----------------	--

みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言
～ 笑顔って良いよね ～

みなさんが
笑顔になれることって何かを考えてみました
ゆったりと温泉につかっているとき
おいしいものに出会ったとき
さわやかな汗をかいたとき
みなさんも想像してみてください
みなかみ町には
幸せで笑顔になれる素材が
いっぱいあるって思います
みなさんが笑顔で
美しく健康でいられる
そんなみなかみ町をつくれます

平成23年12月7日 制定

みなかみ町スポーツ推進計画

令和5年4月 発行

発 行 みなかみ町教育委員会
編 集 みなかみ町教育委員会 生涯学習課
群馬県利根郡みなかみ町後閑318
電 話：0278-25-5025
FAX：0278-62-0632
URL：<https://www.town.minakami.gunma.jp>